

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2014年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.3.0.2)

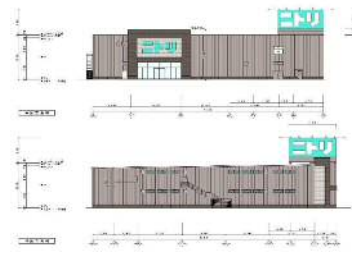
1. 建物概要			
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)ニトリ新津山谷北SC店 新築工事 <small>新潟県新潟市秋葉区新津宇山谷北5194-1の一部、5197-2の一部、5198-5の一部</small> 近隣商業地域 物販店, 2022年10月 予定 4,628.11 m ² 2,219.48 m ² 4,246.55 m ² 地上2階 S造 実施設計段階評価 2022年4月8日		
2. CASBEE新潟の評価結果			
		B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{35.3}{45.9} = 0.7$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★			
3. 新潟市の重点項目の評価			
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 2.8		バリアフリー計画 Q2.1.1.3 3.0 維持管理 Q2.1.3 2.5 設備の更新性 Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震 Q2.2.1 3.0 信頼性 Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減 LR3.2.3.1 2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.5		建物外皮の熱負荷抑制 LR1.1 4.0 自然エネルギー利用 LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.3		節水 LR2.1.1 3.0 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 LR2.2.4 1.0 部材の再利用可能性向上への取組み LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 Q3.1 1.0 敷地内温熱環境の向上 Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 1.0		まちなみ・景観への配慮 Q3.2 1.0 地域性への配慮、快適性の向上 Q3.3.1 1.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項			
騒音発生源は極力地上に設置せず、2階ROOFに設置し、周辺への配慮を行い、衛生器具は節水型を使用、内部仕上材や接着剤、塗装はF☆☆☆☆を使用しております。			

CASBEE[®]新潟

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.3.0.2)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニトリ新潟山谷北SC店 新築	階数	地上2階
建設地	新潟県新潟市秋葉区新津字山谷北	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	30 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,640 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2022年4月8日
敷地面積	4,628 m ²	作成者	若林 祐介
建築面積	2,219 m ²	確認日	2022年4月12日
延床面積	4,247 m ²	確認者	小笠原 英視



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 72%
③上記②以外の: 72%
④上記+: 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 隣接する建物と建物位置を合わせ建物連続性、調和を乱さないよう配慮しております。		特に無し。
Q1 室内環境 騒音発生源は極力地上に設置せず、2階ROOFに設置し、周辺への配慮を行っております。	Q2 サービス性能 売場天井高を、1階は3.99m・2階は3.50mとし内部空間に余裕を持たせております。	Q3 室外環境(敷地内) 建物を可能な限り前面道路より後退させ、道路からの視界阻害を図った。
LR1 エネルギー 省エネルギー法に基づき行っております。	LR2 資源・マテリアル 衛生器具は節水型を使用し、内部仕上材や接着剤、塗装はF☆☆☆☆を使用しております。	LR3 敷地外環境 駐輪場や駐車場は周辺の道路に渋滞を発生させない様、適切な台数やスペースを設けております。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される